

## 令和5年度松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会会議録

1. 日時 令和6年2月8日(木) 10時00分～11時00分
2. 場所 松江歴史館 歴史の指南所
3. 出席者
  - (1) 委員 浅沼 政誌(委員長)、松浦 俊彦(副委員長)、飯塚 真敏、野津 照雄、  
稲場 久和、古藤 弘巳、安部 登
  - (2) 事務局  
(松江市)文化スポーツ部長 松尾 純一、事務局長 岡田 美穂、学芸係長 大島 典子、  
新庄 正典、笠井 今日子、安部 万智  
(指定管理者)株式会社さんびる 松江歴史館支配人 平井 利和
4. 内容
  - (1) 開会
  - (2) 部長あいさつ
  - (3) 議事
    - ①令和4～5年度の運営状況について
    - ②令和6年度の運営方針について
    - ③その他
  - (4) 閉会
5. 会議経過
  - (1) 開会  
岡田 鞆 ただいまより、令和5年度 松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会を開催させていただきます。私は、松江歴史館事務局長の岡田でございます。昨年4月の異動でこちらの方に参加しました。どうぞよろしく願いいたします。  
それでは、開会にあたりまして、松江市文化スポーツ部の松尾部長よりご挨拶申し上げます。
  - (2) 部長あいさつ  
松尾部長 文化スポーツ部長の松尾でございます。  
本日はお忙しいところ松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。  
前回のホーランエンヤが開催されてから早いもので5年がたとうとしてい

ます。来年度は、次回のホーランエンヤまでちょうど折り返しの年となります。松江市といたしましても、皆様方と一緒に、先般12月8日にお約束いたしましたとおりのロードマップを作成しながら、共有しながら一つずつ着実に進めてまいりたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。この松江ホーランエンヤ伝承館でも、ホーランエンヤの伝統を次世代に伝えていくとともに、次回のホーランエンヤに向けて、五大地を含む関係者の皆様を始め、市民の皆様方と一緒に、令和11年を目指して機運を盛り上げていかなければならないと考えております。

近年の取り組みとしましては、市内全域の小学校6年生を対象に実施している松江城授業プロジェクトで、松江ホーランエンヤ伝承館も見学していただくことが多く、本年も13校の児童が見学されました。子どもたちに関心をもってもらう良い機会になったと考えております。また、昨年度の運営協議会で委員の皆さまからいただいたご意見をもとに、伝承館のホームページにこれまでのホーランエンヤの写真を掲載したり、展示替えを検討したりと、まずは伝承館から機運を盛り上げていくことに取り組んでいます。

今後も、できるだけたくさんの方にホーランエンヤの魅力を伝えていくために、皆様方にご意見をいただきながら積極的に取り組んでまいりたいと思っておりますので、本日は忌憚のないご意見をお聞かせいただきますようお願い申し上げます。簡単ですが私のご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願い致します。

岡田鞆蔵 続きます、指定管理者の平井支配人から一言ご挨拶申し上げます。

平井支配人 令和3年の4月から指定管理をさせていただいております株式会社さんびの平井と申します。昨年の11月16日付けで支配人をさせていただいております。挨拶が遅くなりましたが、今後ともよろしくお願い致します。ホーランエンヤという伝統的な神事を広く知っていただくためにこの伝承館は非常に大事な施設であると認識しております。市と協議しながら運営管理をしてまいりたいと思っております。よろしくお願い致します。

岡田鞆蔵 それでは、始めに資料を確認させていただきます。まず、「会議次第」、「委員名簿」、「席次表」、ホチキス止めしてあります「会議資料」がございます。このほかに、現在開催しております松江歴史館の館蔵品展「明治時代のサムライたち」のチラシ、招待券をお配りしています。

ここで、委員の皆様の本日の出席状況についてご報告いたします。本日は、

委員 8 名のうち、松浦哲次副委員長がご欠席ですので 7 名のご出席をいただいております。「松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会規約」第 5 条第 2 項の規定により、過半数の委員の出席をいただいておりますので、本会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。

それでは次第に従いまして会議を進めさせていただきます。なお、発言の際はマイクをご使用いただきますようお願いいたします。

これより会議の進行は、同規約第 5 条第 1 項の規定により、浅沼委員長にお願いしたいと存じます。よろしく申し上げます。

### (3) 議事

浅沼委員長 五大地の皆様は会合等でお会いしておられると思いますが、私は 1 年ぶりに皆様にお会いするという事ですのでよろしくお願いいたします。

それでは、僭越ではございますが、私の方で会議の方を進行させていただきます。

最初に皆様にお諮りしたいのですが、本日の審議内容は、非公開の案件はないと伺っております。従いまして、「松江市情報公開条例」に基づき、事務局で話した内容を精査した上で情報公開したいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員全員 (承諾)

浅沼委員長 ありがとうございます。それでは、事務局の方よろしくお願いいたします。

#### ① 令和 4～5 年度の運営状況について

浅沼委員長 それでは、会議次第に従いまして、議事に入らせていただきます。

まず、令和 4 年度から令和 5 年度の運営状況につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

大島係長 松江歴史館学芸係長の 大島でございます。それでは、私の方からご説明いたします。会議資料の 1 頁をお開きください。

まず、入館者数の状況でございます。令和 4 年度の入館者数は 6,273 人で、令和 3 年度より 170.2 パーセントの増となりました。こちらですけれども、新型コロナウイルス感染症拡大による行動制限が緩和されたことなどによって、前年度に比べて入館者数は大幅に増加したものと思われま

また、今年度の12月末までの入館者数は4,918人になっております。新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から「5類感染症」に移行となり、行動制限等もなくなったことから、入館者数はコロナ禍と比べると増加したものであると思われま。しかしながら、昨年度よりは若干減少している状況でございます。昨年度は10月に10周年記念イベントがあり、一日で290名の来館があったことが大きく影響しまして、昨年度までには至りませんでした。なお、歴史館からの誘導人数については、昨年度と比べて増加している状況です。現在も、歴史館の受付で、ホーランエンヤ伝承館を案内していますが、引き続き指定管理者と連携して、歴史館からの入館者の増加に取り組みたいと思いま。

続いて主な取り組みについてご報告いたします。資料は2頁をご覧ください。

まず、教育・普及の取り組みについてご報告いたします。平成28年にスタートした松江城授業プロジェクトでは、市内の小学6年生が松江城と松江歴史館の見学を通して松江の歴史や文化を学んでいます。このプロジェクトでは、ホーランエンヤ伝承館のリーフレットを全児童に配布して学ぶ機会を提供するほか、できるだけ伝承館の見学をプログラムに取り入れていただくよう小学校に積極的に呼びかけています。その結果、全34校のうち令和4年度は12校、令和5年度は13校が見学しました。授業プロジェクト以外にも、竹矢小学校及び朝酌小学校の3年生から出前授業の依頼、こちらの方は職員が学校の方へ行きまして、ホーランエンヤについていろいろと説明をさせてもらうという出前授業の依頼と、美保関中学校・浜山中学校及び玉湯学園からインタビューの依頼があり、歴史館職員が説明等を行いました。

次に展示の状況についてです。令和4年10月22日に開催したホーランエンヤ伝承館10周年記念式典に合わせまして、多目的ホールでは陶山広之氏の切り絵の展示替えを、廊下では大正4年以降令和元年までのそれぞれの神幸祭の写真を展示しました。また、松江のホーランエンヤにつきましては令和3年3月に記録選択されていますが、その内容について紹介したものが展示室内にありませんでしたので、パネルを作成して設置しました。

次に情報発信についてです。昨年度の運営協議会で委員の皆さまから過去のホーランエンヤの写真をホームページで見ることができると良いのではないかというご意見をいただきました。ありがとうございます。今年度、写真ギャラリーをホームページに追加し、大正4年以降のホーランエンヤの写真を掲載していますので、またご覧いただければと思います。

最後に新型コロナウイルス感染症への対応状況でございます。ホーランエンヤ伝承館の方につきましても新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ここ数年間は、検温の実施、マスク着用の徹底、消毒液の設置などの感染症対策を行ってきました。令和5年5月8日から、感染症法上の位置付けが5類へ移行したことに伴い、マスクの着用や消毒液の使用については個人の判断に委ねることとしました。

以上で、令和4年度から5年度の運営状況についての説明を終わります。

浅沼委員長 ただいまの説明に対して、ご意見・ご質問等がありますでしょうか。

古藤委員 先ほどの運営形態の中で、この資料に載っているように経費、支出、予算が書いてあるわけですが、合計480万くらい。入って来られた人数は書いてあるけど、実際の収入というのはどのくらいになるんですか。

岡田鞆殿 歳入は入館料になりますが、こちら令和4年度につきましては、11万7千円になります。それで、実際に有料となって入館料をいただいた方が11万7千円の歳入があるわけですが、そのうち歴史館から、歴史館の有料の観覧を見て、そこからホーランエンヤ伝承館の方にいらした方というのは、無料という扱いになっておりますので、これが割ればイコール入館者数になるわけではありません。

古藤委員 こんなものだろうと思っていただけども、あまりにも赤字でずっと推移するから、いつになったらそれなりのものがと危惧されるので、それで質問しました。

浅沼委員長 他にございますでしょうか。

野津委員 教育普及の関係で、小学校が全部で34校あるんですかね。それで、実際12校とか13校とかやってるけど、これは計画で今年度はここ、次年度ここかローテーションみたいなものみたいな考えでやっているのか、単純に受けつけてその分を見学に来てくださいというふうにされてるのか、その辺の状況を教えてもらえますか。

大島係長 状況としましては、毎年春くらいに学校に対して、今年の松江城授業プロジェクトの計画を出してもらいまして、基本的に松江城と歴史館は見学いただくの

ですが、それだけでも3時間かかるような状態となっております。そこで、学校の方から、ホーランエンヤ伝承館の方を計画して見たいというふうなご希望があればさせてもらっています。毎年、この学校を順番に見てもらおうという形でお願いしているような状態ではなくて、あくまでこちらの方から呼びかけて、学校の方から手があがったところに対して説明をさせてもらっているという状況になります。

学校によって取れる時間というのがございまして、歴史館としましては、なるべく多くの学校にホーランエンヤ伝承館にも来てもらいたいと思って呼びかけてはいるんですけども、やはり授業の計画の都合上というところもございまして、今現在はそういった状況になっております。

毎年4月くらいに呼びかけますので引き続き伝承館の方についても見ていただけるように呼びかけていきたいと思っております。

野津委員 はい。分かりました。

稲場委員 先ほど説明があった情報発信についてお尋ねしたいのですが、皆さん昨年の提言でホームページをリニューアルということで、見ておられると思うのですが、私も久しぶりに見て情報発信、ホームページのあり方が、一言で言うところ陳腐化しているという感想です。

というのは、写真集とかが久しぶりにアップされてと思ったけれども、ホームページのバックにある写真なんかを見ても、前々回の写真なんです。もう前回のホーランエンヤが終わって5年も経っているにも関わらず、前々回のホーランエンヤの場面の写真がホームページのバックの写真になっている。

なおかつ前回終わってから一番のイベントは、ひとつは開館10周年を迎えたということがあると思うんですよ、これはニュースに載ってる。もう一つ一番なのは、ここにもちょっと書いてあるんですけど、文化庁に記録選択されたということです。市長から認定書ももらって。その後、文化庁からの補助金なんかももらって、五大地とすると非常にそういうことはありがたい、次回に繋がる。

五大地は今いろいろなことでやってるわけですけども、ホームページの中でそういうことが一言もない。例えば、令和3年に文化庁の記録選択に選ばれました、それほど文化的価値がありますよということがホームページの中の、ホーランエンヤとは何かは書いてあるけれども、そういうことが一行一句ないんです。我々は当時者だから分かることなだけども、やっぱり観光客とかホーランエンヤ伝承館に行ってみたいなと、じゃあどういふところなのかって見たときに、そういうことを、これほど文化的に価値があるものなんだと、だから行ってみよう。それはすぐには繋がらないかもしれないけども、そういうこと一つと

ってもホームページというのは、冒頭言ったけど陳腐化している。目新しさが無い。一番大切なさっきのことなんかは何で載せられないのか。だからそういう部分を早く一新して、そういったことを見た人が伝承館に行ってみたらこれだけの価値があるものなんだ、次回はそういう対象になるものなんだと。五大地はそれで今会議をしたりして、次回に向けていろいろ準備もしているわけで、その辺の熱意を、五大地の熱意というものをホームページにもっとアップしていただきたいというふうに思います。よろしくお願いします。

大島係長 ありがとうございます。おっしゃるとおり、ホームページのところに10周年記念イベントと大事な記録選択の内容といったところが載せてなかったと思い反省しております。速やかにそういったところについて対応させてもらいたいと思います。やはり、ホームページというのは広く皆様に情報発信できる貴重なツールというかコンテンツになるかと思っておりますので、そういったところで多くの方に知ってもらえるような取り組みを行っていきたいと思います。

浅沼委員長 貴重なご意見ありがとうございます。事務局の方ご対応よろしくお願いたします。それで、せっかくホームページがあって、あと5年ですね、令和11年に向かって動いていきますので、そのホームページでいろいろ五大地の方の動きというのを随時ホームページでアップしていただけて、情報を発信していただくというようなフォローをしていただけるといいと思います。ご検討いただければと思います。よろしくお願いします。

岡田鞆殿 ありがとうございます。これから次のホーランエンヤに向けての動きというのを、いろんな市内の方も遠くの方も見ながら一緒に参加している気持ちになっていただけると思っておりますので、これを載せるにはぜひとも五大地の皆様のご協力も必要になると思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

浅沼委員長 他にありますか。

松浦俊 副委員長 ホームページのことと関連して、どうやってそのホームページに誘導していくかということもすごく大事で、ホームページに載せてますよというだけじゃなくて、そこへどう見てもらうかということも大事かと思っております。例えば観光協会とか、松江市の観光のところとかにリンクが貼ってあるとかそういったことなどがあればいいと思いますし、もしまだだったらそういったところへ。やっぱり観光協会のホームページなんかは観光客は必ず松江はどういったところかなというふうに見ますので、そういったところに必ずリンクを貼って、

ホーランエンヤというところへ誘導していくということも大事なと思います。やっておられるのであればそれでいいと思いますけど。それと基本的にアクセス数はどれくらいあるのかというふうに思います。会議所もホームページがありますけど、基本的に待ちの姿勢というか、積極的にどんどん発信していくという意味では、フェイスブックとかそういったものも活用してやっていますけど、ホームページだけでは若干情報発信という意味では、不足しているんじゃないかと思いますので、積極的にこちらから情報をどんどん出していくようなことも考えていただくといいかなと思います。

大島係長 歴史館のホームページの方にはリンクを貼ってしまして、あとはSNSとかそういったものでは情報発信をしていたんですけども、確かにおっしゃるとおり観光協会の方からリンクというのは、今はしておりませんでした。貴重なご意見をいただきましたので検討していきたいと思います。ありがとうございます。

浅沼委員長 他にございますか。そうしますと次の方へ行かせていただきたいと思います。

## ② 令和6年度の運営方針（案）について

浅沼委員長 それでは、次に令和6年度の運営方針について事務局から説明をお願いします。

大島係長 会議資料の4頁をお開きください。

新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ入館者数を、コロナ前の水準に戻すことを目標にしまして、さまざまな取り組みを行っていきたくと考えております。

目標の入館者数の方ですけれども、前回のホーランエンヤ催行前が8千人前後でしたので、その8千人を昨年度に引き続き令和6年度の目標としたいというふうに考えております。

主な取り組みといたしましては、引き続き松江城授業プロジェクトにおいて、できるだけ多くの小学校に伝承館の見学を働きかけたいと思います。10年に1度の神事ですので、どうしても実物を見ることができない子どもたちも多いと思います。そうした子どもたちにもふるさと松江の誇るホーランエンヤについて知る機会を作っていきたくと考えています。

また展示につきましては、多目的スペースの展示替えの検討を行っていきたくと考えております。現時点では、令和7年度に展示替えを行う予定です。さらにコロナ前まで行っていましたホーランエンヤVRの活用、こちらは船か



ら 360 度のホーランエンヤの様子が見れるものですが、こちらの VR の活用や、  
剣權や采振りなどの衣装の着付体験の実施も行っていきたいと考えています。

また、昨年度の運営協議会でご意見をいただきました中庭の櫓伝馬船の修繕につ  
きましては、一度に行うことが難しいため、来年度は船の塗装を中心に部分修繕を行  
いたいと考えています。

そのほか、利用促進等については指定管理者から説明します。

平井支配人 失礼いたします。利用促進についてご説明させていただきます。資料 4 頁に  
記載しておりますとおり、先ほどからもご指摘いただいておりますホームペ  
ージ、SNS を積極的に活用して利用促進に繋げていきたいと考えておりま  
す。また、営業訪問、広報による利用促進と書いておりますが、県内外の旅行  
会社や観光施設等に営業訪問を予定しております。その他、伝承館内の案内表  
示をお客様に分かりやすいように常に考えながら改修したり、年パス購入促  
進キャンペーンを行ったり、誘客イベントを開催したり等考えております。ま  
た、歴史館から伝承館への誘導についても現在行っていますが、さらに強化し  
て誘導できるような形を作っていきたいと考えております。以上でございま  
す。

大島係長 令和 6 年度の運営方針の説明は以上です。

具体的な取り組みにつきましては、来館者の声や五大地の皆様のご意見を  
伺いながら検討してまいりたいと考えております。

浅沼委員長 それでは、来館者の声がございましたら、事務局から報告してください。

平井支配人 来館者の声についてですが、松江ホーランエンヤ伝承館内のアンケート結  
果よりお伝えさせていただきたいと思います。

「10 年に 1 度のお祭りが展示をされているのは素晴らしい」とか「日本三  
大船神事が知れて良かったです」とか「実際に見に行きたい」「大変勉  
強になった」といった嬉しい回答でございました。あわせて、2029 年、あと 5  
年、折り返し時期になりますので、もっと多くの方に広めていかなければいけ  
ないなど思っているところでございます。

浅沼委員長 ありがとうございます。それでは、ただいまの報告も参考にしながら、具  
体的な取り組みについて、皆様からご意見がありましたらご発言いただきた  
いと思います。

稲場委員

伝承館の来館者にも繋がる部分だと思うんですけども、先ほど冒頭の運営状況の中で、展示が令和4年度・5年度はこういうことをやったと報告がありました。それでこの案を見させていただくと、6年度は具体的に何か企画をお考えなのか。

今の歴史館はしょっちゅう企画をやってお客さんと呼んでいるわけなんですけれども、ホーランエンヤ伝承館については、そういったことが、歴史館のような規模でというのは難しい。しかし、少なくとも1年に一回くらいは、企画物をしてもらいたいんですよね、思いついたようにじゃなくて計画的に。少なくとも半年くらいのスパンの中で年2回くらいはそういう企画物をしないと、こういう箱ものというのは一回見たらもういいよ、というようになってしまくと、2度3度リピーターというのはほとんどいないんですよね。企画物やるからリピーターが入ってくる。たまたまこの前孫を連れてきて、次行ってみるかと言ったら、いやもういいと言うんですよ。だから企画物というのがないから、ほとんど同じような、一回見て、巡回すれば大体こういうものだと。だからそういうもので、企画物をやはり事務局サイドの方でもやって、対外的にアピールをしないといけない。そういうのをひとつやっていただきたいと思えます。

それと先ほどお客様の声というのがね、非常にいいことを言っておられた。それをホームページに載せるんですよ、職員ブログみたいな形で。例えば今日はこういうお客さんが来られてこういうことを言って帰られました。そういうのをホームページか何かで見るから、じゃあまた行ってみよう。せっかくそういうものがアンケートであれば、宝の持ち腐れにせずにどんどん発信していけばいいんじゃないだろうか。一回見たらおしまいじゃなくて、それを受付の職員が、職員ブログみたいな形で載せていくとかというのもありかというふうに思います。

大島係長

ありがとうございます。展示の方は確かにホーランエンヤ伝承館につきましては、なかなか変わってないというところのご意見もいただいたりもしますので、令和7年度に向けて多目的ホールの方を活用して、パネルが中心になると思うんですけども、展示ができないかと思っているところです。あと、ホームページにお客様の声を載せてはどうかというご意見をいただきました。それにつきましては、指定管理者の方と検討していきたいと思っております。貴重なご意見をありがとうございました。

平井支配人

先日、旅行会社様へプレゼンする場がございまして、そちらの方に行った時に、旅行会社様よりホーランエンヤのこと、伝承館のことをいいねと、ホーラ

ンエンヤ伝承館の特別ツアーを組んでくれないかという話があり、ホーランエンヤの縮小版とか出来ないかという声もございました。こういったことは出来る出来ないは別としまして、現実的には難しいかとは思いますが、こういったところにもお客様の声にチャレンジしていきたいと思っておりますので、そのためには皆様の力も必要になるかと思っておりますので、ご連絡等々させていただくこともあるかと思っておりますが、またその時にはよろしくお願いたします。

浅沼委員長      ありがとうございます。他にございますでしょうか。

古藤委員      2点ほどですけども、今の小学校の普及教育、それとか出前講座とかですけども、5年度の中にも出てるんですけど、職員が行ってお話をされるんですか。実際にどういう話を、ホーランエンヤの話をされてるのかというのがちょっと疑問で、小学校向けであれば簡単なこととお話されているのか、ホーランエンヤというのは総称的な話だけをされているのか、とかいろんな部分が全く見えない部分があるので、もし詳しく本当に知りたいということであれば、今の五大地の保存会でもいるので、そういう人を連れて行くとか、そういうふうにした方がいいと思いますよ。

それともう一つですけども、さっき松浦副委員長さんが言われたホームページの方へ誘導していくというのは本当に非常に重要な部分であると思うんです。確認ですけど、この伝承館に来られた方はどこかホームページに誘導するような仕掛けでもしてあるんですか。たとえば二次元バーコードをスマホでやれば、ホームページにいきますよとか。そういうのは今してあるんですか。

大島係長      QRコードを読み込んでということはございます。

古藤委員      伝承館にあるんですか、そういうの。

大島係長      伝承館自体にQRコードですか。

古藤委員      伝承館に行った人が、そこで、その伝承館で展示してる分を見るだけじゃなくて、あわせてホームページに誘導していけるようなものを持っておくとよいのではないのでしょうか。

大島係長      QRコードの方は作ってはいるんですけども、ホーランエンヤ伝承館の方にそういったQRコードというものは置いてなかったです。

古藤委員 伝承館に限らずだけど、一番いいのは誰もスマホを持ってるので、例えば市の観光課とか、そういう関係する部署にぱっとすぐQRコードをスマホでホームページが映るような分を持っていれば、さっき稲場委員が言ったように、いろんなものを書いた分が見れる。それをやらないとせっかくいい内容の物を作っても、そこへ誘導していかないとだめだと思うので、やっぱりそこをいろいろ全員で考える必要があるかもしれませんね。

大島係長 ありがとうございます。QRコードは貴重なご意見をいただきまして、確かにこうQRコードをいろいろなところに置くことによりまして、そこからも簡単にアクセスして見てもらうというような誘導方法もあると、今聞いて思いました。そのあたりについては、また指定管理者の方と検討していきたいと思っております。

学校への出前授業の方なんですけれども、こちらの方はパワーポイントを学校の方へ持ち込みまして映像を見てもらいながら、歴史的な背景とかこれはどういったものかとか、そういったことについてお話をさせてもらっております。行った職員の話をお聞きすると、小学校の方でホーランエンヤ自体を知らないというふうなお子さんとか学校の先生とかが多いということで、まずは導入部分にはなるんですけども、松江ではこういった祭りが、神事がありますよということをお伝えするという事をしております。

飯塚委員 やはり、ホーランエンヤは権伝馬船の大きさも華やかさの一つです。本物は大きすぎて持ってこられないということで、二分の一の模型船がありますが原寸大のパネルのようなものを作って、二分の一の模型船の後ろに置いてはどうでしょうか。パネルなので船の幅方向はちょっと分からないと思いますが、言葉で何メートルと寸法を聞くよりも、入館者の方、特に子どもが来た時に権伝馬船の大きさが分かるんじゃないかと。それともう一つ、権伝馬船に関する展示物がありませんので案として、マストとかのぼりとか、擬宝珠とかを展示してはどうでしょうか。これは外というわけにはいきませんので室内になると思うんですが、映像で見たものと比べるとこういう大きいものがのっているんだな、船自体も大きいものだなと分かると思います。今まで写真などいろいろ展示してありますが、権伝馬船に関しての展示物もいいんじゃないかなと思いますので、今後考えていただきたいと思います。それと、マーブルテレビさんがホーランエンヤの準備や段取り作業、練習風景などについてもいろいろ映像を撮っておられると思うんですよ。借りることが出来れば、入館者の方に別の角度からホーランエンヤを感じてもらえるのではないかと思います。

ます。

大島係長 映像につきましては、昭和33年のものをホーランエンヤ伝承館では見れるようにしているんですけども、そこで他の映像とか流せるものがないかどうかというところ、それとさっき言われました大きさが分かるものというものも展示してはというご意見もいただきましたので、今後多目的ホールをどういう風な展示にしていくかということを考えていくうえで一緒に検討していきたいと思っております。ありがとうございます。

野津委員 今、次どういうことをしたい、ああいうことをしたいという意見が出ているんですけど、その時に例えば展示する時にでも、五大地のメンバーにこういう風に考えてますけどもどうでしょうかという話を一回してもらおうと、もっと皆さんも楽するのではないかとこの会があります。この会のメンバーをフル活用といった悪いですけども、これから先の次回の分をもとにして、重要文化財等のことをするんですけど、それまでの前段のところを文化庁がおっしゃってるんで、こういった会合の中のこれをもとにして、今は伝承館の話ですけども、本番はそれに向かってやっていますよという話が大事じゃないかなと思いますので、それは検討された方がいいと思います。これは意見です。

岡田鞆藏 ご意見ありがとうございます。先ほどからいただいている意見につきましては、参考になるものをたくさんいただいておりますありがとうございます。おっしゃるように、五大地の皆様にご協力いただくものがたくさんございますので、その都度相談させていただきながら進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

浅沼委員長 いろいろリクエストというかやらないといけないことがいっぱいある。ぜひですね、少しずつでもいいので進めていっていただきたいと思っております。予算のことなんかもまた五大地の皆さんのバックアップもしていただけるんではないかと思っておりますので、ぜひ進めていっていただければと思います。

### ③ その他

浅沼委員長 最後に、「③その他」について、事務局から何かありますでしょうか。

岡田鞆藏 会議資料の一番最後、5頁を見ていただきますと、こちらの方に現委員の皆様の名簿を掲載しております。委員名簿の一番右下の方に任期を記載しておりますが、委員の任期は2年となっており、ご覧のように今年の3月31日までとなっております。事務局といたしましてはぜひとも引き続きお願いした

いと考えておりますので、改めてご依頼をさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

浅沼委員長 全体を通じまして、何かこれだけは言っておかなければいけないということがございましたら、お願ひしたいですが。そうしますと、会議を終了し、進行を事務局に返したいと思ひます。ご協力ありがとうございました。

#### (4) 閉会

岡田鞆 浅沼委員長様には、円滑な議事運営をしていただきありがとうございました。本日皆様から頂戴しましたご意見を今後の取り組みの参考にして参りたいと思ひますので、今後ともご指導ご支援を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

以上を持ちまして本日の会議を閉会させていただきます。ありがとうございました。

#### 6. 所管課等

松江市文化スポーツ部松江歴史館事務局

電話 0852-55-5511

#### 【会議録署名】

令和6年3月28日

松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会

委員長 浅沼政誌